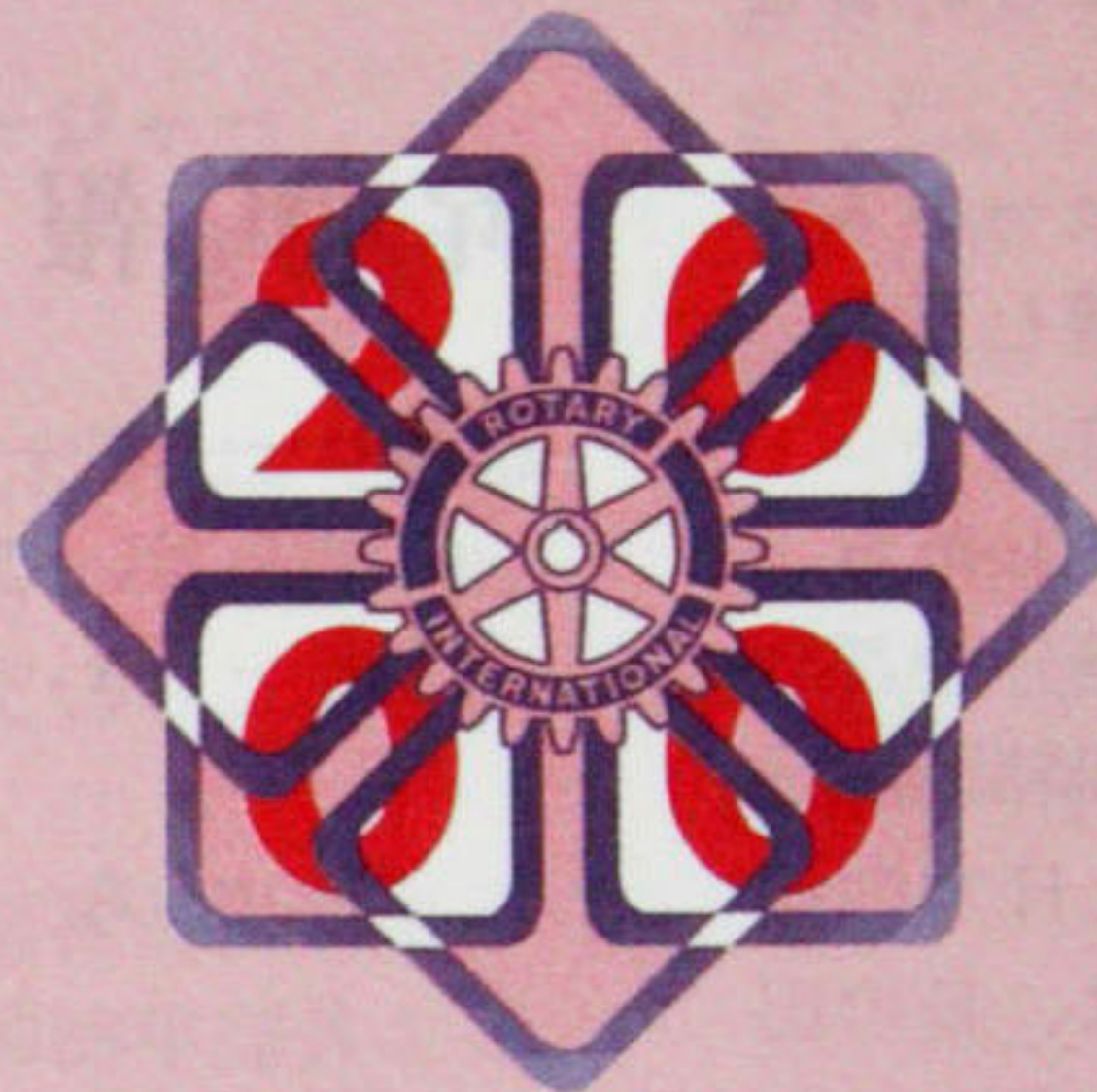


ROTARY 2000:  
ACT WITH  
CONSISTENCY  
CREDIBILITY  
CONTINUITY



ロータリー2000:  
活動は—堅実、  
信望、持続

1999～2000年度 国際ロータリーのテーマ

第2560地区  
ガバナー——高木 貞一郎  
会長——長谷川 有美  
会長エレクト——斎藤 弘文  
副会長——五十嵐 昭一  
幹事——藤田 紘一  
副幹事——丸山 行彦  
S A A——五十嵐 寿一  
副 S A A——荻根沢 隆雄

例会日——毎週水曜日 12:30～  
例会場及び——三条市旭町2-5-10  
事務局——三条信用金庫本店内  
例会場——TEL 35-3311  
事務局——TEL 35-3477  
FAX 32-7095

本日出席会員数	74名中 48名
先々週出席率	88.24%

## ゲスト

全日空新潟支店セールスマネージャー  
吉岡 隆 殿

## 先週のメイクアップ

12/16 加茂へ  
山田富義さん  
12/16 燕へ  
外山一郎さん、荻根沢隆雄さん、  
加藤紋次郎さん、佐藤 武さん、  
林 光輝さん



## 12/20 三条南へ

外山一郎さん、五十嵐晋三さん、松谷昊吉さん、  
橋 直樹さん、渋谷健一さん、福井良英さん、  
杉山幸英さん、細井増雄さん、榎本 勝さん、  
斎藤弘文さん、石橋育於さん、加藤紋次郎さん、  
山田富義さん

## 12/21 三条北へ

菊池 涉さん、松谷昊吉さん、渋谷健一さん、  
橋 直樹さん、渡辺勝利さん、渋谷正一さん、  
山田富義さん、加藤紋次郎さん、  
五十嵐総一さん

# 会長挨拶

## 長谷川有美会長

今日は雪のせいか、また、年末でお忙しいせいか、ちょっと出席が少ないようでございます。

また、ウィジターの御臨席は1名もございません。

今日卓話を頂きます全日空新潟支店セールスマネージャーの吉岡 隆 様、ようこそお越し下さいました。後ほどよろしく願ひ致します。

今日は冬至でございます。新聞を見ましたら、明日の日の出が6時56分、日没が16時28分でございます。昼間、いわゆる明るい時間が9時間30分、ところが、東京から1,050km離れた日本の領土の最南端である小笠原諸島の母島では、日の出が6時17分、日没が16時45分、なんとこちらより1時間も昼間が長いんです。

人間と言うのはおかしなもので、日が長いと大体一生懸命働くようですが、日が短くなりますと、5時前なのに、夜になったから仕事をやめなきゃいけない、そんな気持ちになるようです。

私は夏になりますと午前3時半ころから釣りに出かけるんですが、寺泊へ向かう30分のうちに夜がしらじらと明け始め、4時になると完全に明るくなります。日没はと言いますと、皆さん御存知のように暗くなるのが7時半頃ですので、昼間の時間が15時間30分、なんと一番昼の短い今日と比べますと、夏至の時の方が約8時間も長いのです。

日が短いよりも長い方がいろいろと活動するにもよろしいようでございますが、こんな昼の時間が短い日がもし、年中続いたという事になりますと、いろいろな意味で経済的な影響も出てくるかも知れませんが、そうかと言ひまして、1年中冬至と夏至の真ん中くらいでコンスタントになっておればこれもいいかもしれませんが、なかなか自然の現象というのはおもしろいものです。

まあ、今回の雪も累積30cm位降ったんじゃないかと思いますが、幹線道路は第1回目の除雪があったようですけれども、除雪がうまくいかない、あるいは、消雪が無いような小路での車の接触事故、あるいは転落事故（昨年も転落したのを一件上げてきましたが、）が出ています。

私も忙しいもんだから、つつい今までの雪の無いときと同じように飛ばしたら、ブレーキを踏んでもなかなか停まらず、追突寸前で停まって冷や汗をかきましたけど、ぜひ車間距離を充分取って、安全運転をしていただきたいと思います。

ハンドルを切りながらブレーキかけても絶対に思った方向に行かないという事だけは、くれぐれも頭の中には是非置いて頂きたい、くどいようです

が、再度御忠告を申し上げまして、挨拶に替えさせていただきます。

ありがとうございました。

## 幹事報告

◎燕ロータリークラブより創立40周年式典のご案内がとどいております

と き 平成12年4月8日(土)  
PM1:00~

と ころ 新潟県県央地域地場産業  
振興センター

締め切り 平成12年2月15日

◎日本サービスセンターよりロータリー適用相場変更のお知らせがとどいております。

平成12年1月1日より104円(現行105円)

## ニコニコBOX



藤田紘一さん

吉岡様、卓話ありがとうございます。

本日例会後いからの里クリスマスの集いに参加します。

成澤敏明さん

全日空吉岡マネージャーを迎えて。

佐野勝栄さん

先日、日曜日外山さんと六日町ミナミスキー場にて初滑りをしました。

杉山幸英さん

ニコニコBOXに協力をして。

小柳直人さん

ニコニコBOXがさびしかったものですから。

12月22日分 ¥ 6,000

今年度累計 ¥ 325,000

# 卓話

## 「航空会社の現状と新潟空港の 利用促進について」

全日空新潟支店

セールスマネージャー

吉岡 隆 殿



皆さんこんにちは。日頃、皆様にはいろいろな形でお世話になっていることと思ひます。

私どもの会社が出来ましたのが、昭和28年12月1日でございます。東京に本社

があった日本ヘリコプターと大阪の極東航空とが合併をして全日本空輸株式会社となり、今に至っております。

今日のお話の内容は「航空会社の現状と新潟空港の利用促進について」でございます。

一部あっちこちに飛びながらお話をさせていただきますが、飛行機会社ゆえご勘弁して頂きたいと思ひます。

さて、現在航空会社の中でどんな事が始まっているかということですが、国内におきましては、二点ございまして、まず一点は、『需給規制の廃止による競争の激化』が始まっています。

皆様御存知のように、平成10年から11年にかけて新規航空会社スカイマーク、エアドゥーの二社が設立されました。

この二社は東京~札幌、福岡、大阪を飛んでいますが、いわゆるコストセーブによる低価格運賃が売り物の会社です。

そこで、既存の航空会社はこれに対して、当然運賃の割り引きの拡大を図っております。また、これからおそらく進んで行くと思われるのが路線参入の自由化でございます。発着枠(空港には飛行機を安全に飛ばすために、一定の時間の中で何機離発着させるかが世界的なルールの中で決められています。)を今までは、ここからここへ飛んでいたものをこちらに振り向けるなどということは出来ませんでした。その転用の裁量の拡大という方向に進んでおります。としますと、私どもすべての航空会社がすでにやっておりますけれども、高需要時期にはたくさん飛行機を飛ばし、低需要時期には減便または運休をして、需要の供給量の調整をさせて頂くことがスムーズに出来るわけです。

二点目は、『航空会社のサービスの進化』です。

この中で、現在一番進んでおりますのがインターネットによる予約(いわゆるEチケット)でございます。予約決済サービスを全てインターネットでやることで24時間いつでも対応できるわけです。

その他にもデビットカードでの支払いや郵便局とタイアップしたカードの発行を今年すでにやりました。これらは全ての皆様にプラスになるかどうか分かりませんが、いろいろなマスをサービスが進化して行っているということでございます。

一方、世界に目を向けますと、『提携』いわゆる『アライアンス』でございます。

現在、世界の航空会社同士がいろいろな所と提携をしており、大きく4つほどにグループ化されて行っています。

一つは、イギリスのブリティッシュエアウエイズ、アメリカのアメリカン等を中心にカンタス、キャセイ等約5社でワンワールドというグループを形成しています。

それからもう一つはKLMオランダ航空、ノースウエストが中心になりましてウイングスというグループを形成しています。また、これにはまだ名前がございませんけれども、アメリカのデルタ航空とフランスのエールフランスの連合軍です。それからもう一つは、アトランティックエクセレンス、これはヨーロッパ中心でございますけど、ここは脱会等でどんどん勢力が弱くなっています。

そして、最後にスターアライアンスというグループでございます。これは現在9社、アメリカのユナイテッド、ヨーロッパのルフトハンザ、スカンジナビア、北米のエアカナダ、東南アジアのタイ、南米のバリーフ、南太平洋のニュージーランド航空とアンセットオーストラリア、そして、実は今年の10月31日に私ども全日空もこのグループに加盟しました。今後もシンガポール航空をはじめいろいろな航空会社が参入する予定です。

それでは『アライアンス』で何が便利になるのでしょうか。それは手続の簡素化、乗り継ぎなどの便利性の向上、マイルージが貯めやすくなるなど、大きく上げるとこの三点です。お客様のメリットを最大化する事でグループでお客様を取りこんで行こうとする状況の中で世界的に『アライアンス』が進んでいるのだと思ひます。

ここで、国内3社(全日空、日本航空、日本エアシステム)の業績がどのように変化して来ているのかについて申し上げますと、1座席/km(一つの座席が飛行距離1kmで収入がいくらかの、コストがいくらかかるのかというものさし)で見ると、旅客収入で平成2年度を100とすると、平成10年度の国内三社の平均で国内線の収入が約33%の減で、平均運賃は21%安くなっております。

それから利用率が約10.8%低下していて、全てが低下しているという状況です。

一方、航空会社の公的な負担いわゆる税金等の負担（空港着陸料、燃料税、固定資産税等）は、平成2年度に18.2という水準でしたが、平成10年度には21%に上がっています。

具体的には、一人のお客様が1km飛ぶときの費用が国内三社の平均が4円40銭ですが、アメリカでは1円20～30銭です。昨年一部空港の着陸料の減免もございましたので少しは軽くなって現在の21という数字でございます。

さて、新潟空港の状況ですが、皆様のお手もとに資料をお配りしておりますが、御存知の通り2,500mの滑走路を持ち、ビルも新しくなり大変わりっばなものです。

私どもがご当地新潟に就航させて頂きましたのが1958年、新潟～東京を飛んだのが初めてでした。

現在の新潟空港の利用客は、平成10年度の国内線で1,015,626人、国際線で1,171,168人です。私ども全日空全体の利用客数は平成10年度で3,835万人ですが、その中で新潟空港の利用客は62万人で、新潟空港のマーケットシェアは約61%です。

平成11年度の新潟空港の利用客は11月までで国内線で780,993人で約109.5%の伸びです。その内私どもが516,000人でシェアは66.1%です。

実は国内線の利用客は平成9年度と比較して平成10年度は減ってございました。その中で伊丹空港への利用客数は6万人ほど増えております。私どもは昨年の11月に新潟～関空線を廃止して、伊丹線に替えさせて頂きました。その結果が今年の11月までで前年比約168%の伸びです。

利用促進のお話をさせて頂きますが、私ども新潟支店の営業活動といたしますが、新潟空港から乗って頂くのは営業実績になりますが、新潟空港に到着されるお客様の数は実績にはならずボランティア活動になります。

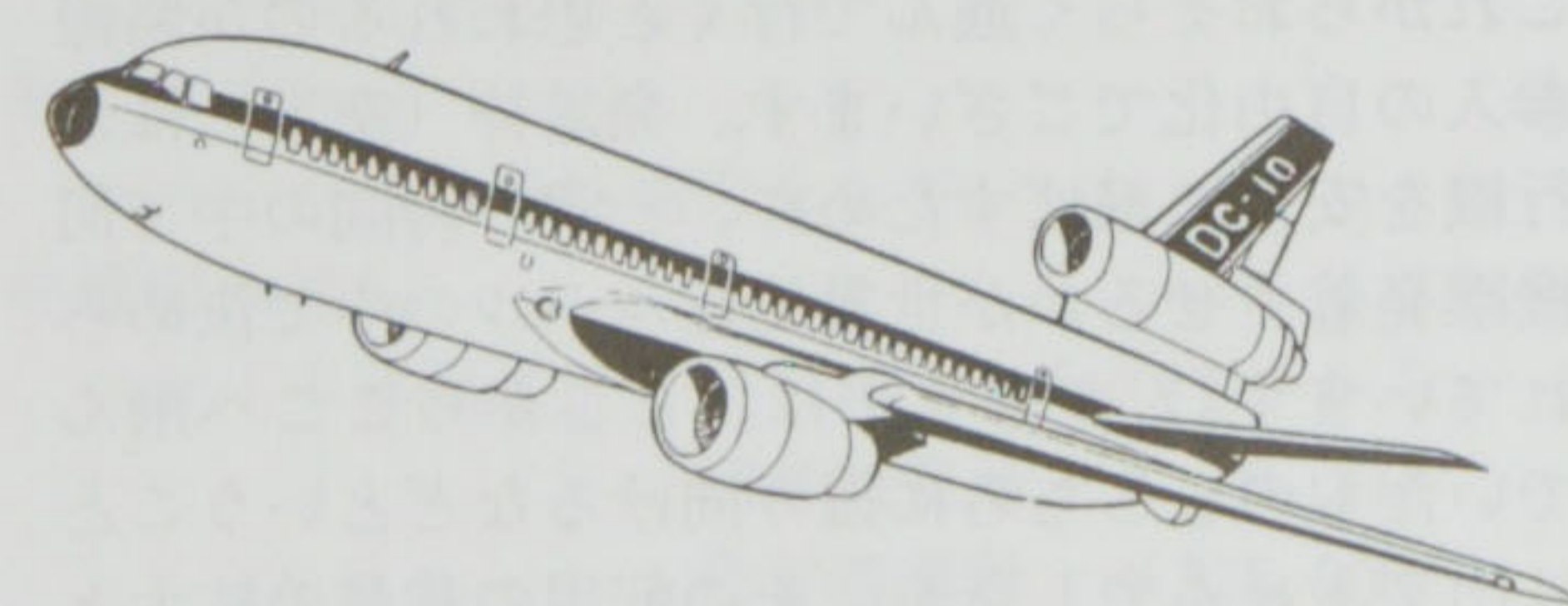
一昨年の12月より私どもは地元へ貢献するため、観光に力を入れようと考え大阪にセールスに行き、苗場のスキーを前面に売り出しましたが、苗場の名前がまだまだ売れていませんでした。我々の年代は苗場と言えばワールドカップが開かれたりして良く知っています。

しかし、今の若い人たちには全く知られていないということで、街頭でビラ配りをしたり、苗場にお客様を送客する方法として新潟空港から苗場までのアクセスを考えたりしましたが、行政の支援がまだまだ弱いので、新潟交通さんに「今こそ攻める時です。」と協力を依頼して、昨年、毎日新潟空港から苗場へのバスをおよそ500台運行しました。

結果として5,000名のお客様が1人平均約2.5泊、延12,000泊のお客様を苗場に送り込みました。

今、行政をお願いしておりますのは、やはりお客様を送り出すところに出かけて行って宣伝をしてほしい、ということです。「新潟の食べ物は大変おいしいですよ。是非食べてみてください。」と一緒にやっていますが、まだまだ積極的に進んでいないところが現状でございます。

今年の私どもの目標は昨年の2倍10,000人のお客様を送り込む事です。このお客様が来る事によって新潟県内での消費が進み、少しでも新潟県の経済への効果に貢献できるようがんばっておりますので、飛行機をご利用の際には、是非全日空をかわいがって頂くようよろしくお願い致します。



## 1998年（平成10年）度新潟空港利用状況

（単位：人、%）

		平成10年度		平成9年度		対前年度比	
		利用者数	利用率	利用者数	利用率	増減	比率
国内線	大阪線	438,787	55.3%	414,642	58.9%	24,145	105.8%
	関西国際空港	135,207	47.7%	173,324	50.6%	△38,117	78.0%
	伊丹空港	303,580	59.5%	241,318	66.9%	62,262	125.8%
	札幌線	197,069	56.8%	247,661	55.7%	△50,592	79.6%
	函館線	28,757	45.3%	31,244	51.1%	△2,487	92.0%
	女満別線	11,779	55.3%	14,328	67.4%	△2,549	82.2%
	仙台線	2,060	30.5%	10,460	45.9%	△8,400	19.7%
	花巻線	3,604	31.7%	864	30.5%	2,740	417.1%
	佐渡線	7,193	41.7%	7,858	39.6%	△665	91.5%
	名古屋線	132,643	52.2%	126,866	52.9%	5,777	104.6%
	広島線	11,627	51.3%	13,829	59.6%	△2,202	84.1%
	福岡線	127,287	56.7%	129,970	54.5%	△2,683	97.9%
	沖縄線	53,903	54.5%	48,357	50.2%	5,546	111.5%
	臨時・チャーター便	917	81.0%	0	0.0%	917	—
国内計	1,015,626	54.5%	1,046,079	55.8%	△30,453	97.1%	
国際線	ハバロフスク線	14,047	41.2%	15,645	45.9%	△1,598	89.8%
	イルクーツク線	2,563	27.7%	3,715	26.0%	△1,152	69.0%
	ウラジオストク線	14,646	45.1%	17,253	53.2%	△2,607	84.9%
	ソウル線	50,936	70.0%	47,206	64.7%	3,730	107.9%
	上海/西安線	19,301	51.7%	557	59.5%	18,744	3465.2%
	ハルビン線	8,986	40.8%	(平成10年6月1日開設)		8,986	—
	グアム線	17,201	69.5%	(平成10年7月2日開設)		17,201	—
	ホノルル線	4,124	53.2%	(平成10年12月19日開設)		4,124	—
	チャーター便	(150便)		(269便)		(△119便)	
	国際計	23,738	65.0%	39,370	79.7%	△15,632	60.3%
合計	1,171,168	54.8%	1,169,825	56.3%	1,343	100.1%	

- ① 新潟空港の利用者数は、対前年度比100.1%、過去最高の117万人となった。
- ② 国内線は、主要路線の札幌線の減便の影響等により、対前年度比97.1%に減少し、101万人となった。（注）仙台線は7月に運休
- ③ 国際線は、新規定期路線が開設されたことから、対前年度比125.7%に増加し、初めて15万人を超えた。

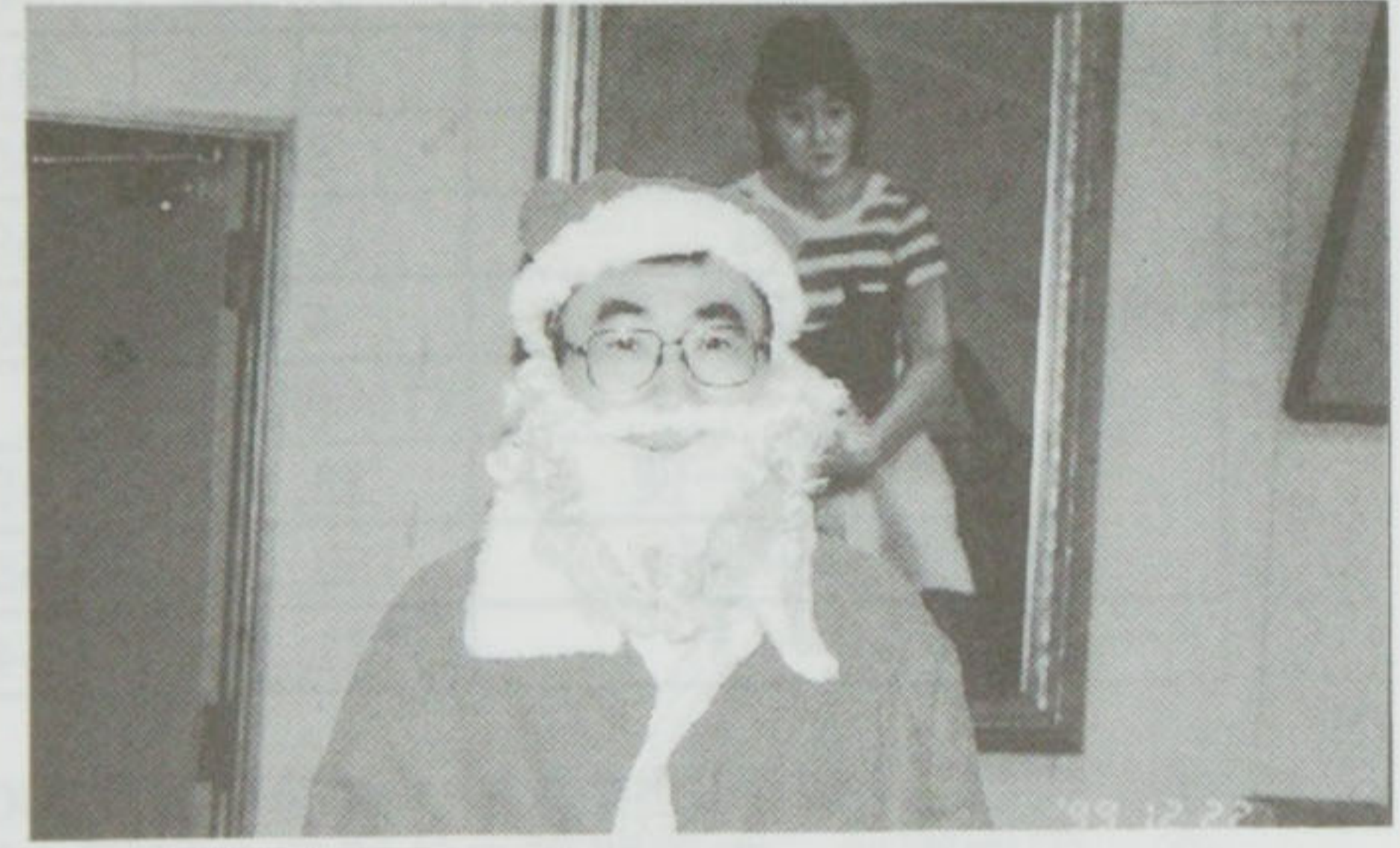
### 【国際チャーター便内訳】

※は初めての目的地（4地点）（便数：片道ベース、利用者数：人）

目的地	便数	利用者数	目的地	便数	利用者数	目的地	便数	利用者数
釜山	15	2,325	デンハースル	2	276	ホノルル	49	7,892
濟州	4	480	セブ	2	277	コナ※	1	162
平壤	3	182	バンコク	2	587	バンクーバー	6	773
武漢	1	140	シドニー	4	917	カルガリー※	2	239
張家口※	1	139	ブリスベン	1	275			
台北	44	7,117	ミラノ	2	404			
グアム	8	872	ローマ	2	404			
サイパン	1	135	ヘルシンキ※	2	142	合計20地点	152	23,738

# 五十嵐の里クリスマスの集いへ！

出席者 会長、幹事、渡辺（宏）、山田



## 例会案内

三条RC	1月5日例会	休会
	1月12日例会	外部卓話 燕三条FM放送(株) 専務 阿部 傳殿

## メイクアップをどうぞ

三条南RC	1月3日例会	休会
	1月10日例会	休会(祝)
三条北RC	1月4日例会	休会
	1月11日例会	通常例会
加茂RC	1月6日例会	夜の例会(新年会)
	1月13日例会	クラブ・フォーラム
燕RC	1月6日例会	通常例会
	1月13日例会	新年会 於 明治屋
見附RC	1月6日例会	クラブ・フォーラム
	1月13日例会	通常例会